

「民家等の雪対策事業について」

山形県朝日町政策推進課 渡辺政一

1. 朝日町の位置と現状

山形県のほぼ中央部で特別豪雪地帯

過疎地域で高齢化率は山形県で2番目に高い

2. 朝日町の積雪状況

18年豪雪 降雪量累計883cm 最大積雪深188cm

3. 問題の課題化

高齢者等の雪に対する不安をなくす

4. 区が主体となった雪対策事業の展開

地域で支える雪対策事業.....地区民が主体となって行う除排雪等の活動

雪害対策事業.....業者等が主体となって行う除排雪

詳細は、次ページ以降の資料

5. 実施してみても 課題と展望

「協働のまちづくり」のさらなる推進...区長と町の信頼関係

豪雪時への対応

限界集落に対する考え方の整理

平成20年度朝日町における民家等の雪対策事業

朝日町地域提案型交付金「地域で支える雪対策事業」

4) 地域で支える雪対策事業 ... [地区民が主体となって行う除排雪等の活動]

雪おろし支援

・ 高齢者や身体障がい者の家屋や、危険性のある放置家屋等の雪おろし及びそれに伴う住宅周辺の排雪作業	25,000円 × 世帯
---	--------------

雪はき支援

・ 高齢者や身体障がい者世帯の降雪による雪はき作業及び除雪車通過後の玄関の雪はき作業	15,000円 × 世帯
--	--------------

町道（歩道・橋梁）の除雪

・ 「雪みち計画」に無く、町と協議なった路線の除雪	[労務賃金1,400円/h、燃料費]
---------------------------	----------------------

- ・ 「雪おろし支援」及び「雪はき支援」については、地区民が主体となって高齢者や身体障がい者の家屋、及び危険性のある放置家屋等を対象として除排雪作業を行うものに支援するものです。（個人負担なし）
- ・ 支援対象者については、自力で除雪することが困難なものであり、次の から すべてに該当する世帯で、区長、役員及び民生委員の合議により対象者を選定し、本人の同意を得たものとなります。
区内に居住する65歳以上の単身世帯、高齢者のみの世帯又は身体障がい者、病氣療養により援助を必要とする世帯
住民税非課税又は均等割世帯に属する者
村山地域及び長井市・白鷹町に扶養義務者（子）が居住していない者
ただし、区の合議により特に必要と認めた場合はその限りではない（雪おろし支援の場合のみ）
生活保護を受けていない者（雪おろし支援の場合のみ）
- ・ 町の辺地計画に指定されている地域の単価は、雪おろし支援37,000円、雪はき支援22,000円となります。
- ・ 「町道の除雪」については、「雪みち計画（町道除雪計画）」にないもので、構造上、町が機械除雪できない町道の橋梁や歩道の除排雪作業の労務賃金、燃料費の実費額を交付するものです。 除雪作業委託契約書の締結

朝日町雪害対策事業

雪害対策事業 ... 業者等が主体となって行う除排雪等

雪おろし支援

・ 高齢者や身体障がい者の家屋や、危険性のある放置家屋等の雪おろし及びそれに伴う住宅周辺の排雪作業	1回につき上限17,000円の80%
---	--------------------

雪はき支援

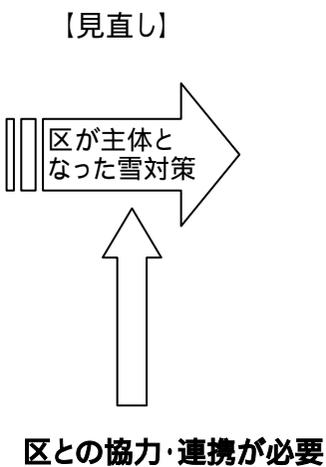
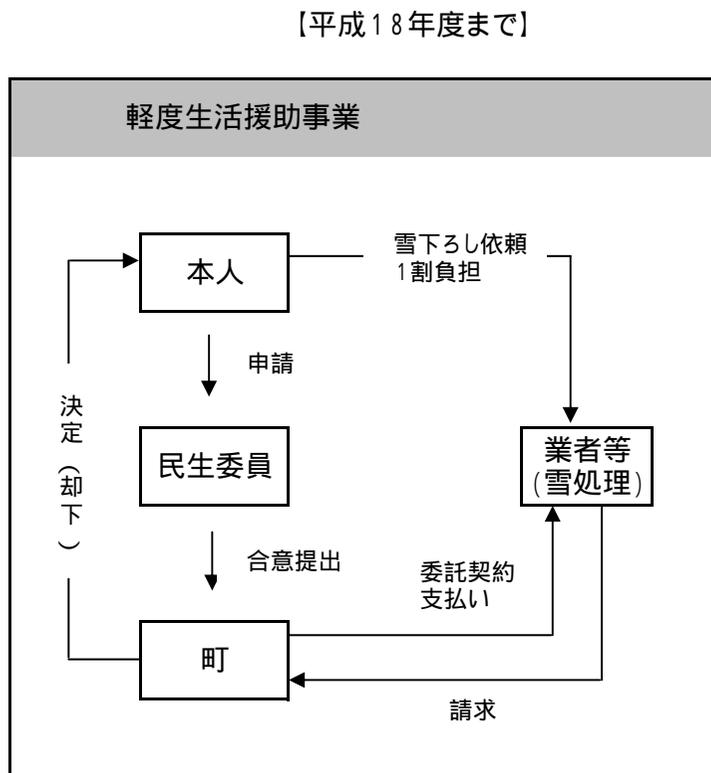
・ 高齢者や身体障がい者世帯の降雪による雪はき作業及び除雪車通過後の玄関の雪はき作業	1日につき1,000円の80%
--	-----------------

- ・ 「雪おろし支援」及び「雪はき支援」については、区長が業者と委託して高齢者や身体障がい者の家屋、及び危険性のある放置家屋等を対象として除排雪作業を行うものに支援するものです。（回数の制限はありません。）
- ・ 支援対象者については、自力で除雪することが困難なものであり、次の から すべてに該当する世帯で、区長、役員及び民生委員の合議により対象者を選定し、本人の同意を得たものとなります。
- ・ 個人負担は委託料の20%としますが、町の辺地計画に指定されている地域は10%とします。
区内に居住する65歳以上の単身世帯、高齢者のみの世帯又は身体障がい者、病氣療養により援助を必要とする世帯
住民税非課税又は均等割世帯に属する者
村山地域及び長井市・白鷹町に扶養義務者（子）が居住していない者
ただし、区の合議により特に必要と認めた場合はその限りではない（雪おろし支援の場合のみ）
生活保護を受けていない者（雪おろし支援の場合のみ）

平成20年度 朝日町における民家等の雪対策事業(展開図)

参照 別紙1

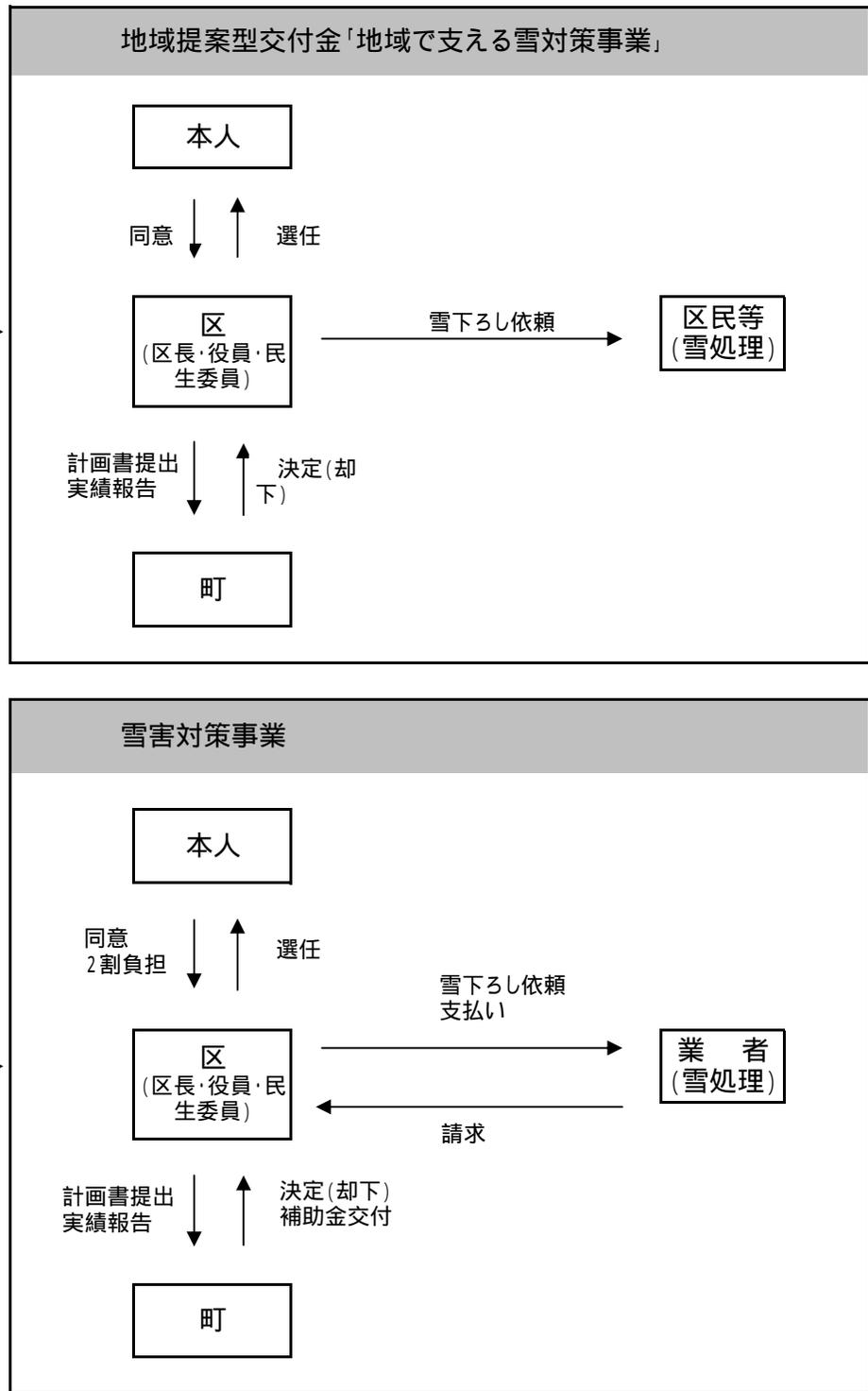
朝日町における民家等の雪対策事業(展開図)



区の主体性で選択

問題点
 本人が雪下ろし業者を確保するのが大変
 豪雪の場合は雪下ろし回数が足りない
 豪雪の場合は経済的負担が大きい
 雪捨て場の確保が大変
 放置家屋の倒壊による町民不安

課題
 高齢者等の雪に対する不安をなくす



朝日町における 民家等の雪対策事業について

山形県朝日町
政策推進課 渡辺 政一

朝日町の位置図



朝日町の現状(平成20年4月1日)

- 総人口 8,472人
- うち65才以上 2,857人
- 高齢化率 33.72%

- 世帯数 2,538世帯
- うち高齢者のみの世帯 527世帯

朝日町の積雪状況(立木地区)

朝日町全域が特別豪雪地帯に指定されている

- 降雪量累計 1,489 cm (平成13年)
- 最大積雪深 205 cm (昭和56年)
- 一日最大降雪量 87 cm (平成12年)

参考 18年豪雪 降雪量累計 883 cm

最大積雪深 188 cm

現状

- 高齡者世帯の増加
- 核家族化の進行
- 地域内コミュニティの低下

問題

自助努力で行ってきた雪おろし・雪はきに対応できない世帯が増加し、雪による事故の発生や不安の増大

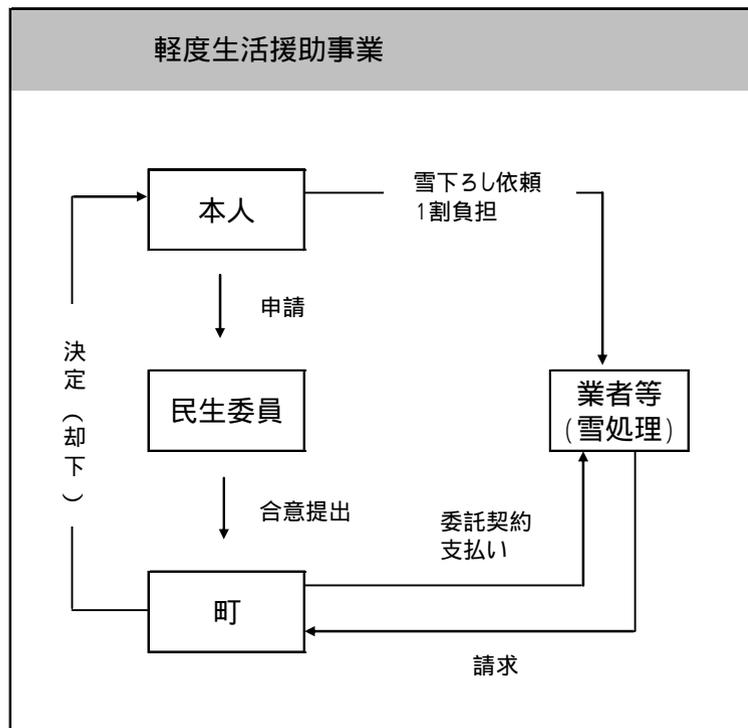
課題

問題の課題化

～ 高齡者等の雪に対する不安をなくす ～

朝日町における民家等の 雪対策事業(展開図)

【平成18年度まで】



問題点

1. 本人が雪下ろし業者を確保するのが大変
2. 豪雪の場合は雪下ろし回数が足りない
3. 豪雪の場合は経済的負担が大きい
4. 雪捨て場の確保が大変
5. 放置家屋の倒壊による町民不安

問題の課題化

～ 高齢者等の雪に対する不安をなくす～

課題を解決するには

行政で各戸の現状把握は困難

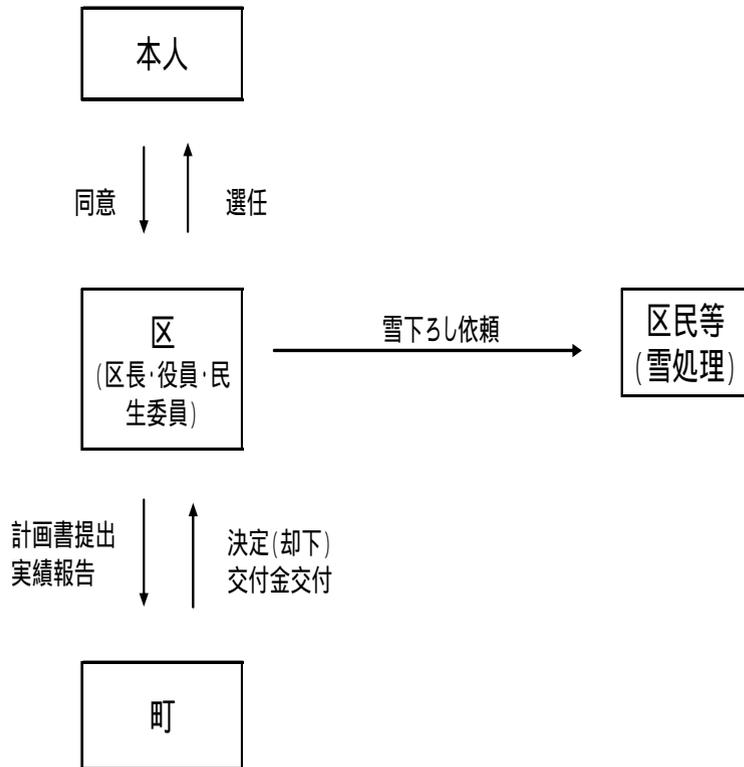
区との協力・連携が必要

区が主体となった雪対策事業

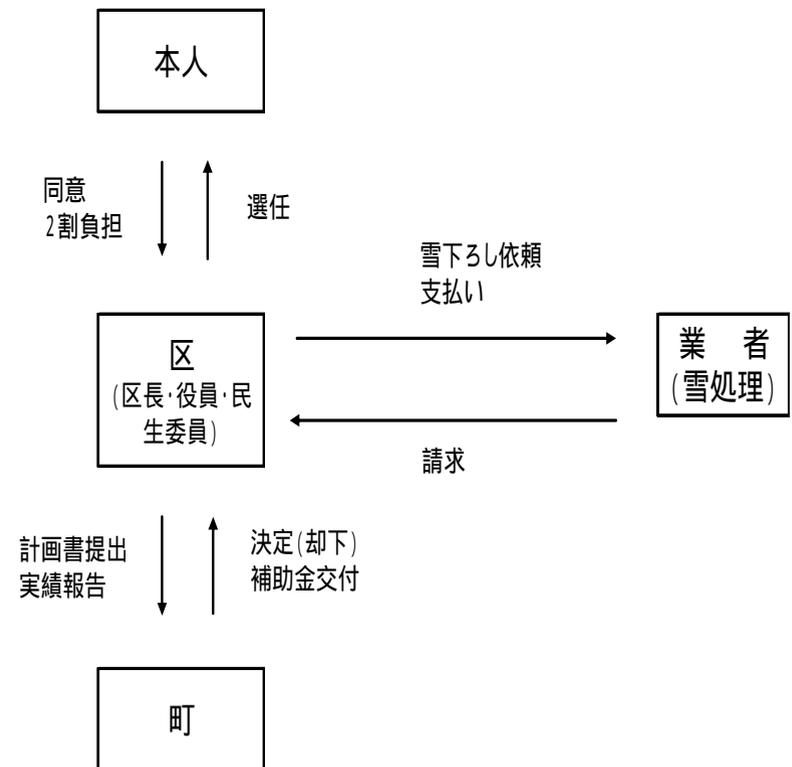
区長会で対策を検討

区の主体性で選択

地域提案型交付金「地域で支える雪対策事業」



雪害対策事業



平成20年度利用状況

	地域で支える 雪対策事業	雪害対策事 業	計
雪おろし支援	27戸	46戸	73戸
雪はき支援	33戸	22戸	55戸
町道除雪	5路線	-	5路線

実施してみても

課題と展望

- ◆ 区長の仕事と責任が増えたことへの不満



- 区長、役員、民生児童委員合議で進めることは、区長負担の軽減と区民の地域づくり気運を高める
- ◆ 区長の雪対策事業に対する温度差がある
 - ◆ 豪雪時を想定したとき、この制度だけでは困難
(柔軟な対応と地域を越えた応援態勢)
 - ◆ 区内にある公共施設(公民館・ポンプ庫・消火栓等)の雪処理に苦慮...特に限界集落
 - ◆ 高齢者は心配性(少量の積雪でも心配してしまう)

区民による雪おろし作業

